

理化學的醫學的應用の **日本一の石鹼廣告**  
 サア大變な者が飛出た

オット膽  
 を潰し給  
 ふか大變  
 な物と云  
 ても決して幽霊や化物  
 ではない即ち日本一の  
 石鹼が現はれたので  
 御坐います(ヒヤ〜)

底で以て蓋を開て見れば香氣馥郁として脚ツ  
 鼻を穿つ此日本一は三度の飯を四度喰て製造  
 して品ゆゑ有來りの品とは違ひズツト身軀に  
 肉が付て居ります(ヒヤ〜)元來石鹼と云  
 ふものは只手足の垢を奇麗は落しさへすれ  
 ば夫で石鹼の役目は濟もので御坐います  
 イヤ此日本一の功能と云ツバ音に手足の  
 垢を奇麗に落すのみならず常に此日本一  
 を用ゆる人は第一色を白くし艶を宜し或  
 は傳染病を豫防し或はヒヤアカガレを  
 癒し其他種々雑多なる奇妙奇手烈妙不  
 思議の功能が御坐います(ヒヤ〜)



萬國の殿方御婦人方は是非此日  
 本一を用ゐて美男子美婦人と成津浦  
 くに至る迄業平と小町の鉢合せをせら  
 れん事を偏に希望致します(拍手大喝采)

近來弊店之名儀を以て賣子或は手代など申觸らし種々なる  
 製造品持あるく奸商有之趣聞及候得共如何なる事申出候共弊  
 店に於ては決而手代或は賣子等差出し不申候間此旨廣告す

**製造元** 東京牛込 西條重兵衛  
**發賣元** 佛方町 一丁目 佐々木玄兵衛  
**特約賣** 遠州森町 野尻保次郎  
**販賣** 東京同盟會各店

各府縣下確實品販賣有名藥舖并に和洋小物店に取次有之候間  
 御最寄にて御購求御試用之程希上候

東京秀英舎印刷

# ○クリスリンソープ廣告

一名糸瓜石鹼

やまと新聞記者

骨皮道人演説

諸君よ近頃は日に月に人間の智識が進歩し殊に廢物利用と云つて最早世の中の役に立たないとして打棄た物までも拾ひあげて素敵滅法界な代物に捨らへ直し人を以て吃驚仰天糞袋と智慧袋とを轉縁返さしむるは豈に啻に積鼻輝の古いのを以て出來合帯の心となし一升樽のあがりをして物後架の手洗ひ鉢に使ふイヤ其様な事ではない即ち襪襪切を漉返して西洋紙と爲し新聞紙の讀殻を用ゐて襖壁等を張るに至つては實に感心仕つる次第で御座ります(ヒヤ)ソコで此糸瓜と云ふ物は是まで糸瓜野郎だとか或ひは何の糸瓜の役にも立たないなど云つて糸瓜と云へば世の中の厄介物のやうになつて居りました然るに是も右の廢物利用に基き何人か此糸瓜から水を取て化粧に用ゆる事を發明せしより彼方でも糸瓜さん此方でも糸瓜殿と糸瓜野郎が急に大出世した事と云つたら恰かも山出しのお三どんが俄かに奥様の位に飛あがつたやうな有様で御座ります(ヒヤ)處で又例の命儲けと諸品の製造に於ては何の糸瓜とも思はぬ西條氏は早くも此處に目を附け其糸瓜とリスリンとを土臺にして是に種々様々奇妙奇手烈妙不思議なる藥品とを配劑し而して漸く練上たのが即ち此糸瓜石鹼で御座ります(ヒヤ)扱て諸君も御存じの通りリスリンはヒョアカギレを治し或ひは皮膚に艶を生じ又た糸瓜の水は色を白くし躰質を細かにする物で御座りますれば此二品の揃ひたるは宛然ら龍虎に翼を添へ色男に弗函を脊負せたと同じ事でもうしても悪かるう筈が御座りませぬ(ヒヤ)尤も或部分の人が是を發明したならば定めし何國の何博士の傳法だとか或ひは何醫學士の經驗だとか針ほどの事を天秤棒ほどに觸れ散かしませうけれども過た事は猶ほ及ばざるが如し此石鹼に於ては決して其様な山師然たる大法螺は吹ず只有の儘を有の儘に申しあげるばかりで御座ります(ヒヤ)然れば常に此の糸瓜石鹼を御用ひ成さるお方は男女老幼に拘らず自ら麝香猫に化變つたかと思なほどの香氣あるは勿論色の白く躰質の緻密にして顔のあるは自ら天人天女になりたるかと思ふばかり實に古今無類天下無双飛切大極上々と云ふは此夥多ある石鹼の中に此糸瓜の右に出る品は恐らく御座りませぬ(ヒヤ)入らッしやい新發明の糸瓜石鹼と云ふは是で御座いサア買ひやんせ古今獨歩の糸瓜石鹼と云ふは是で御座いサア評判く大評判ぢやと茲に此糸瓜石鹼の出來たるをお知らせ申す者は智慧も淺草凡倉前のツイ近所に住む骨皮道人で御座ります御退屈様(拍手大喝采)